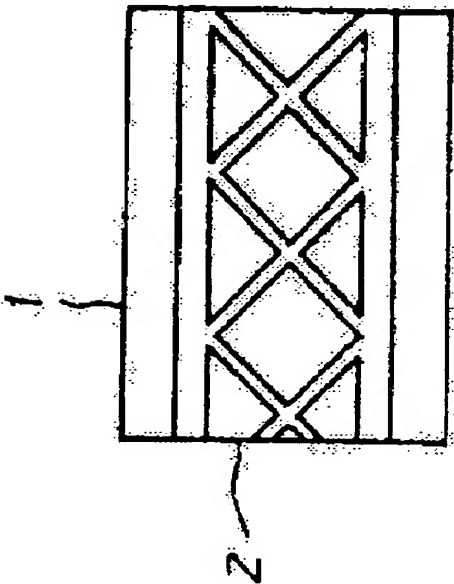


** Result [Utility-model] ** Format(P801) 02.Oct.2003 1/ 1

Application no/date: 1982- 36306[1982/03/17]
 Date of request for examination: []
 Public disclosure no/date: 1983-141430[1983/09/22]
 Examined publication no/date (old law): []
 Registration no/date: []
 Examined publication date (present law): []
 PCT application no
 PCT publication no/date []
 Applicant: HITACHI LTD
 Inventor: OTANI YUICHI, NAKAMURA TOMIO, MATSUISHI HIROMI
 IPC: G11B 5/84
 FI: G11B 5/84 A
 F-term: 5D112AA01, AA24, GA02, GA12, KK06
 Expanded classification: 425
 Fixed keyword:
 Citation:
 Title of invention: *banissyuheddo* *

Abstract:

SUMMARY: Because, about the head configuration which is suitable for *banissyu* cleaning of disc media face, disc is turned in high speed, and it *banissyusuru* by convexoconcave slider department, efficiency can well process disk surface.
 (Machine Translation)



* Vanish head (meaning "burnish")

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭58—141430

⑤ Int. Cl.³
G 11 B 5/84

識別記号

庁内整理番号
6835—5D

⑬ 公開 昭和58年(1983)9月22日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ パーニツシュヘッド

立製作所小田原工場内

⑯ 実 願 昭57—36306

⑰ 考 案 者 松石宏己

⑱ 出 願 昭57(1982)3月17日

小田原市国府津2880株式会社日

⑲ 考 案 者 大谷祐一

⑱ 出 願 人 株式会社日立製作所

小田原市国府津2880株式会社日

立製作所小田原工場内

立製作所小田原工場内

東京都千代田区丸の内1丁目5

番1号

⑲ 考 案 者 中村富雄

⑲ 代 理 人 弁理士 薄田利幸

小田原市国府津2880株式会社日

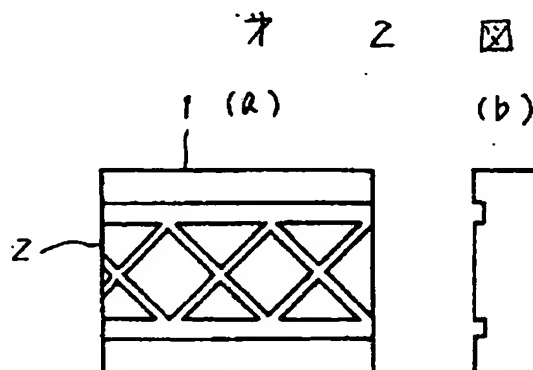
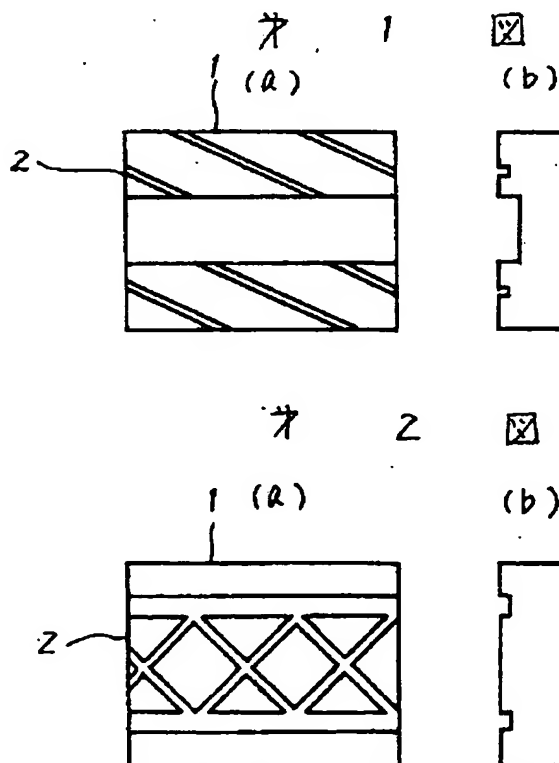
⑳ 実用新案登録請求の範囲

磁気ディスク媒体のパーニツシュ加工に用いられるパーニツシュヘッドにおいて、浮上のための平坦スライダ面と、パーニツシュ加工用の凹凸状スライダ面を設けたことを特徴とするパーニツシュヘッド。

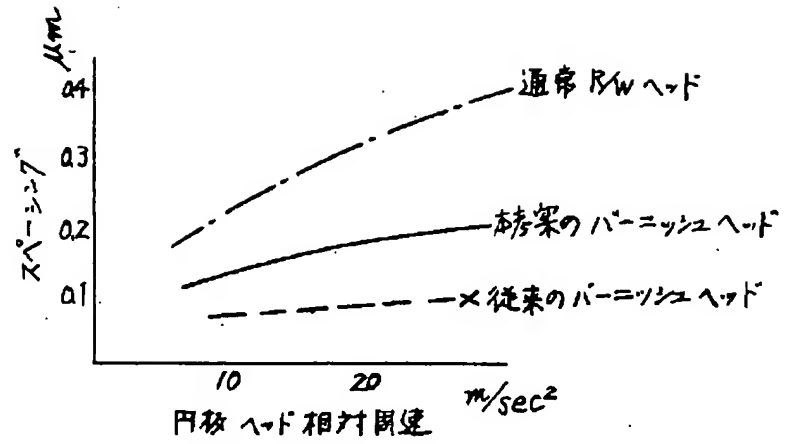
図面の簡単な説明

第1図は従来のパーニツシュヘッドのスライダ形状図、第2図は本考案によるパーニツシュヘッドのスライダ形状図、第3図は通常R/Wヘッドと従来および本考案のパーニツシュヘッドの浮上特性を示す線図である。

1…平坦スライダ部、2…凹凸スライダ部。



才 3 図



19 日本国特許庁 (JP)

10 実用新案出願公開

12 公開実用新案公報 (U)

昭58-141430

51 Int. Cl.³
G 11 B 5/84

識別記号

庁内整理番号
6835 5D

43 公開 昭和58年(1983)9月22日

審査請求 未請求

(全 頁)

54 パーニツシュヘッド

21 実 願 昭57-36306

22 出 願 昭57(1982)3月17日

72 考 案 者 大谷祐一
小田原市国府津2880株式会社日立製作所小田原工場内

72 考 案 者 中村富雄
小田原市国府津2880株式会社日立製作所小田原工場内

72 考 案 者 立製作所小田原工場内

72 考 案 者 松石宏己
小田原市国府津2880株式会社日立製作所小田原工場内

72 出 願 人 株式会社日立製作所
東京都千代田区丸の内1丁目5番1号

72 代 理 人 弁理士 薄田利幸

明 細 書

1 考案の名称 バーニッシュヘッド

2 実用新案登録請求の範囲

1 磁気ディスク媒体のバーニッシュ加工に用いられるバーニッシュヘッドにおいて、浮上のための平坦スライダ一面と、バーニッシュ加工用の凹凸状スライダ一面を設けたことを特徴とするバーニッシュヘッド。

3 考案の詳細な説明

考案の対象

本考案は磁気ディスク媒体の製造方法に係り、特に該ディスク媒体表面のバーニッシュ・クリーニングに好適な、ヘッド形状に関する。

従来技術

従来のバーニッシュヘッドは、スライダの全面が凹凸の形状をしていたので、常にディスク表面と衝突した状態であり、ヘッドと媒体の周速を変化させることにより、ヘッド浮上スペーシングを調整することができず、むしろ一般の平坦スライダと異なり周速を増すと媒体を損傷

させるというような欠点があった。

考案の目的

本考案の目的は、媒体とヘッドの相対周速により設定する狭小スペーシングで浮上させ、しかも加工効率のよいパーニッシュ用ヘッドを提供することにある。

考案の総括的説明

凹凸形状のスライダ面ヘッドはパーニッシュ効果が高い。しかし全面が凹凸であると周速を増しても、ヘッドは媒体に摺り放しで、浮上せずさらに周速を増すと媒体面を損傷することにもなる。そこで、凹凸形状面の他に浮上のための通常磁気ヘッドよりも幅の狭い平坦スライダ面を設け、上記の不具合点の対策をした。

考案の実施例

以下、本考案の一実施例を第1図、第2図、第3図により説明する。

第1図は従来の凹凸状パーニッシュ用ヘッドのスライダ形状の一実施例である。スライダ表面1には、溝2が設けられており、スライダ全

面が凹凸状になっていた。

第2図は本考案の一実施例であり、安定した狭小スペーシングを保つ通常スライダ幅よりも狭い平坦スライダ部1と、バーニッシュ加工用の凹凸状スライダ部2からなる。

第3図は通常のR/Rヘッドと第1図、第2図のヘッドの浮上特性を示す。平坦スライダの通常R/Rヘッドは、装量の設定回転数での周速で、スペーシング0.3~0.5 μm で浮上する。第1図の従来の凹凸状バーニッシュヘッドは、低周速では円板上を常時摺った状態であり、周速を増すと若干スペーシングは増すが、さらに周速を増すと図中×印の周速で円板表面を損傷する。第2図の本考案のバーニッシュヘッドは、狭小スペーシングにより浮上し、周速を増すとスペーシングは漸増する。周速を増していても、浮動は安定し、円板表面を損傷することはない。

本実施例による形状のバーニッシュヘッドによれば、高周速、高エネルギーで加工すること

が可能である。

考案の効果

本考案によれば、ディスクを高速で回転させて凹凸スライダ部によりパーニッシュするので、効率よくディスク表面を加工することができる。

4 図面の簡単な説明

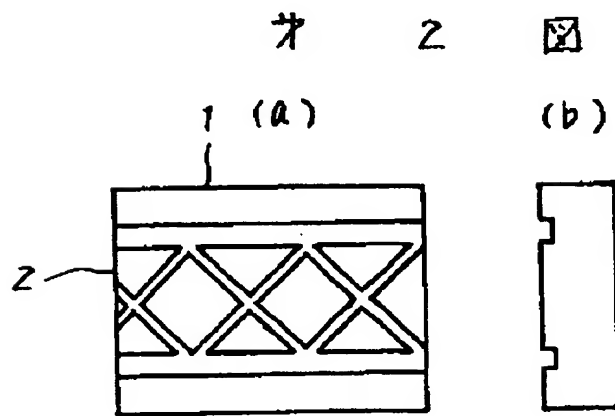
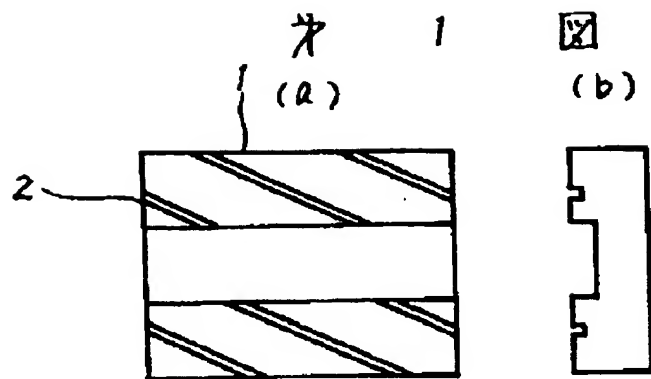
第1図は従来のパーニッシュヘッドのスライダ形状図、第2図は本考案によるパーニッシュヘッドのスライダ形状図、第3図は通常R/Rヘッドと従来および本考案のパーニッシュヘッドの浮上特性を示す線図である。

1 … 平坦スライダ部

2 … 凹凸スライダ部

代理人弁理士 薄 田 利 幸





才 3

